

2018年3月期第1四半期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ



本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまっています。

既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2017年8月1日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズグループにより2017年8月1日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。



- I .2018年3月期第1四半期の決算及び事業の概況
- II .2018年3月期第1四半期の重点施策の進捗状況
- III .今後の目指すべき方向性
- IV .当社の経営目標及び株主還元について

I .2018年3月期第1四半期の決算及び事業の概況





2018年3月期第1四半期 連結決算ハイライト

2018年3月期第1四半期(2017/4-6) 連結決算の総括とポイント

- ① FX口座数は、前四半期末比4,696口座増加と順調に増加。預り証拠金は、口座数の増加に加え顧客損益の改善に伴う増加等により2.9%の増加。

総口座数	301,557口座	2017/3期4Q末比	1.6%増
預り証拠金	62,091百万円	2017/3期4Q末比	2.9%増

- ② 外国為替取引高は、外国為替相場の変動率低下に伴い米ドル／円を中心に減少。但しスプレッド縮小等の顧客取引促進の効果により、国内FX取引高全体が前四半期比約22%減少したのに対し、減少幅は前四半期比12.2%にとどまる。

4-6月取引高	2,484億通貨単位	2017/1-3月比	12.2%減
---------	------------	------------	--------

※取引高にはCFDIに関する数値を米ドルに換算した上で含めております。

- ③ 営業収益は、外国為替取引高の減少に伴いトレーディング損益が減少した一方、システム子会社による売上高の増加等により前四半期比1.1%増加の1,407百万円に。

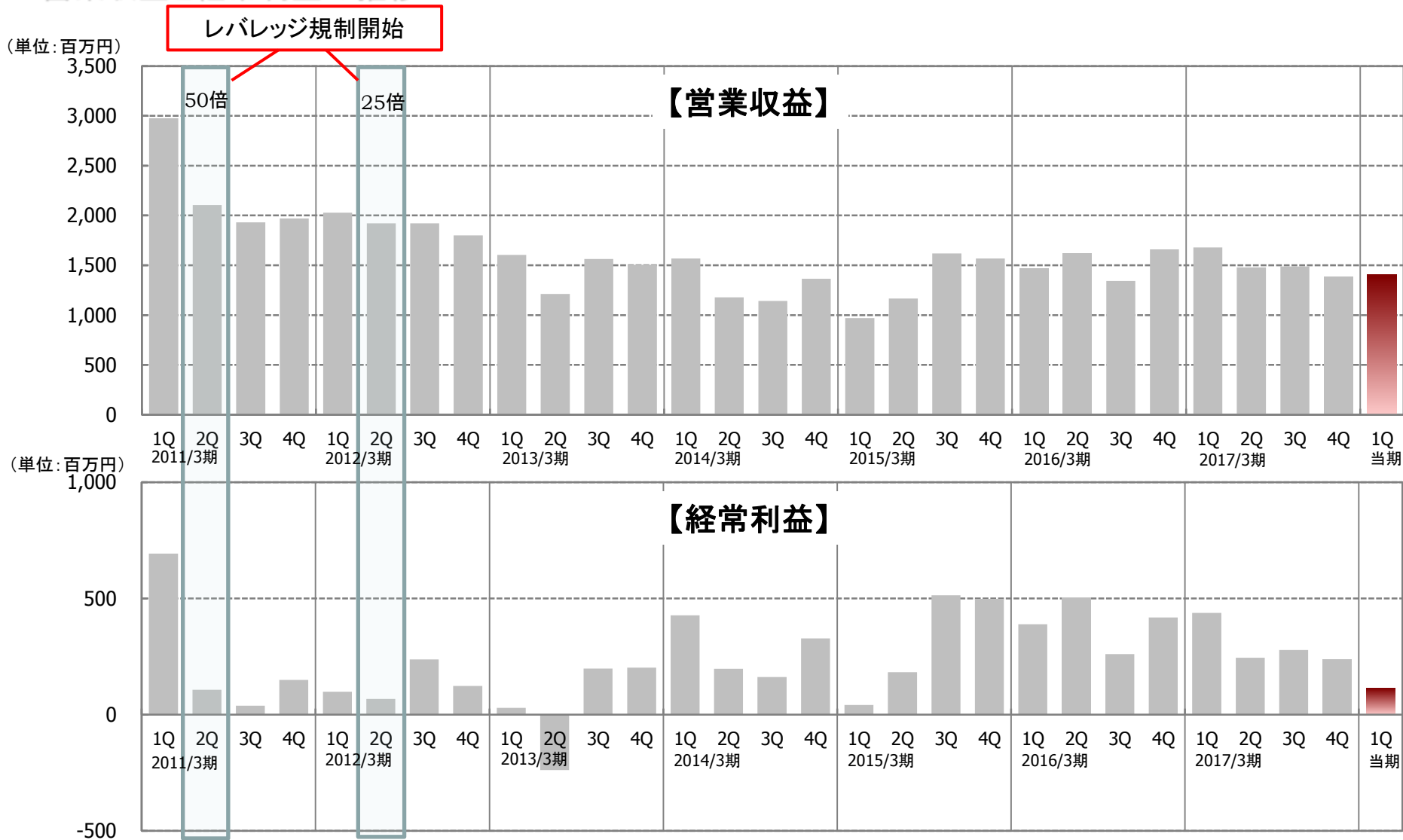
- ④ 損益は、システム関連売上の原価や広告宣伝費等の販管費の増加に伴い減益となり、経常利益は前四半期比51.4%減少の115百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前四半期比52.1%減少の74百万円に。



レバレッジ規制開始以来の四半期業績推移

Money Partners Group

■ 営業収益と経常利益の推移





2018年3月期第1四半期 決算概況と影響ファクター

	2017/3期 4Q 【2017/1 ~ 2017/3】	2018/3期 1Q 【2017/4 ~ 2017/6】	前四半期 対比増減
外国為替取引高	2,484億通貨単位	2,181億通貨単位	▲12.2%
営業収益	1,392百万円	1,407百万円	1.1%
純営業収益	1,338百万円	1,283百万円	▲4.1%
経常利益	237百万円	115百万円	▲51.4%

【損益影響ファクター】

前四半期比

FX取引高



FX収益性



その他の売上高

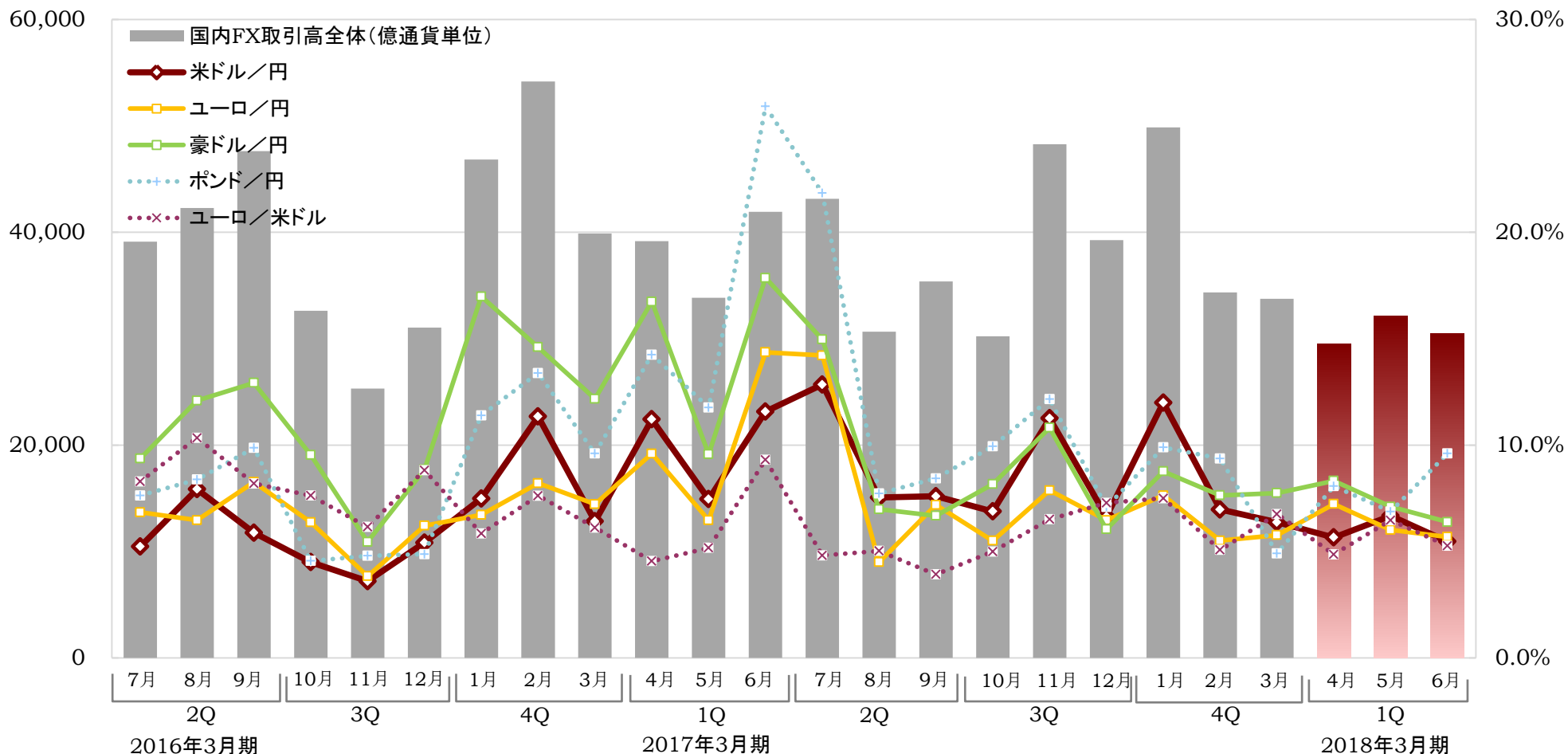


販管費



- 前四半期から変動率が大きく低下した米ドル／円の取引高は大きく減少。フランス大統領選挙等欧州でのイベントの影響からユーロ／円の取引高が増加したものの全体の取引高は前四半期比12.2%減少。通貨別の内訳は、米ドル／円の割合が前四半期比低下し、72%を占める結果に。
- 5月からのスプレッド縮小による収益性低下はあったものの、相対的に収益性の低い米ドル／円の割合が低下し、米ドル／円以外の通貨ペアの取引高が増加したことから、全体としての収益性は前四半期比向上。
- システム子会社のグループ外向け売上高が増加し、営業収益を下支え。ただし、これに伴う売上原価の増加もあり、純営業収益への貢献は限定的。
- 取引高減少に伴う変動費の減少はあったものの、広告宣伝費や減価償却費の増加等によりは前四半期比5.4%増加。

取引高・主要通貨ペア日次平均ボラティリティの推移



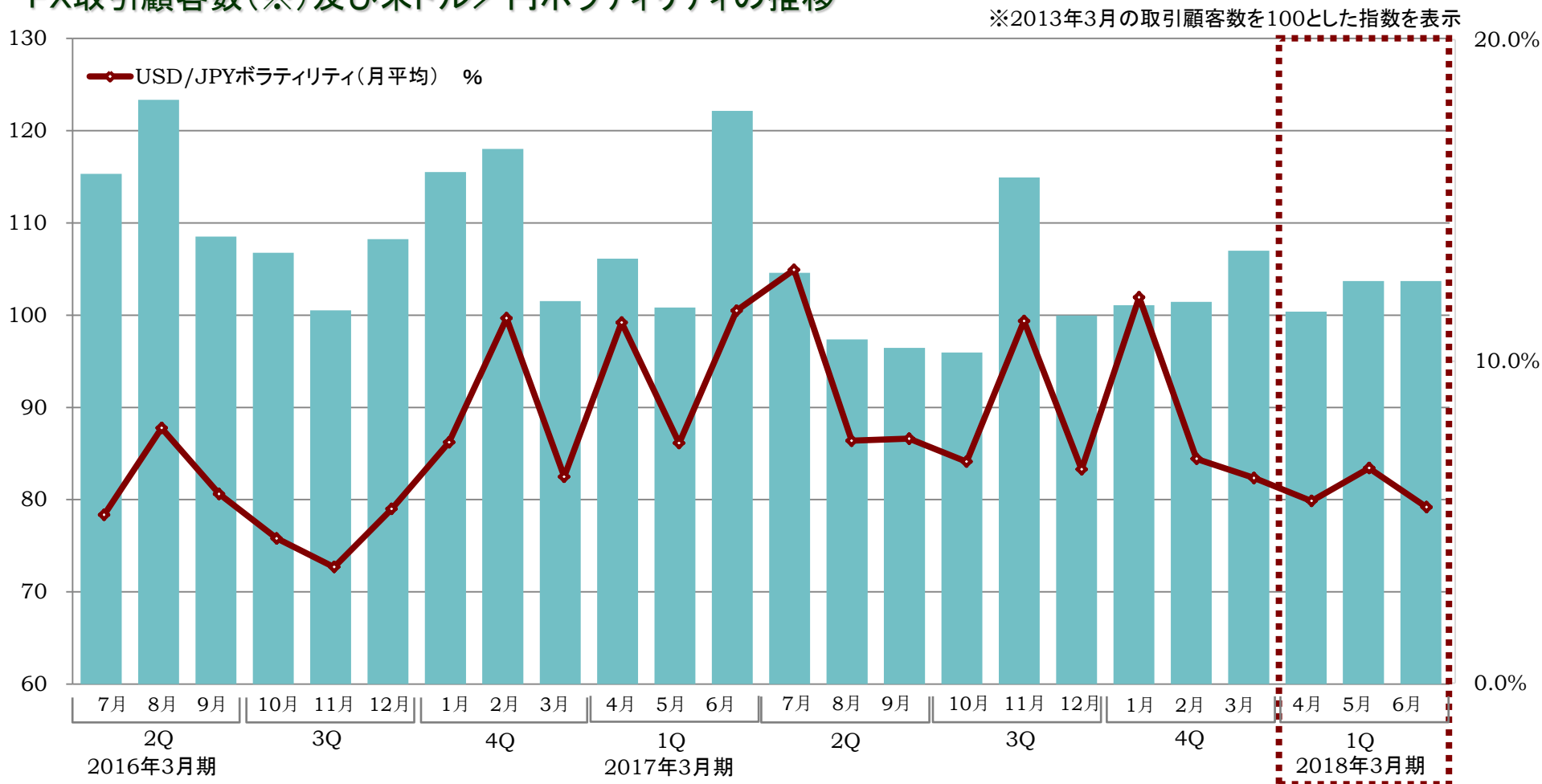
米ドル/円をはじめ、外国為替相場の変動率は2016年3月期第3四半期以来の低水準に。国内FX取引高全体は前四半期比約22%減少する結果に（前年同四半期比でも約20%減少）。



取引顧客数の推移

Money Partners Group

■ FX取引顧客数(※)及び米ドル／円ボラティリティの推移



前四半期と比べ外国為替相場の変動率は低下したものの、スプレッド縮小等の顧客取引促進施策の効果もあり、FX取引顧客数は回復基調を維持。



四半期業績推移

Money Partners Group

■ 四半期毎のP/L主要数値推移

単位:百万円

	2016/3期			2017/3期				2018/3期	前四半期 対比増減
	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	
営業収益	1,621	1,342	1,661	1,680	1,479	1,488	1,392	1,407	1.1%
受入手数料	15	14	19	17	27	21	26	28	7.0%
トレーディング損益	1,586	1,306	1,617	1,639	1,372	1,397	1,323	1,270	▲4.0%
金融収益	3	3	4	2	4	4	9	12	27.0%
その他の売上高	15	18	19	21	75	65	32	95	194.9%
金融費用	23	23	27	36	36	36	38	45	16.3%
売上原価	7	10	8	7	53	44	15	79	426.2%
純営業収益	1,590	1,308	1,624	1,637	1,388	1,407	1,338	1,283	▲4.1%
販売費・一般管理費	1,121	1,049	1,209	1,201	1,142	1,139	1,115	1,176	5.4%
営業利益	468	258	415	435	246	267	222	106	▲52.1%
経常利益	505	260	418	437	245	278	237	115	▲51.4%
税金等調整前四半期純利益	505	261	406	437	245	265	230	115	▲49.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益	334	173	263	299	161	178	155	74	▲52.1%
営業収益経常利益率	31.1%	19.4%	25.2%	26.0%	16.6%	18.7%	17.0%	8.2%	

営業収益が前四半期比1.1%の増加となったものの、トレーディング損益は同4.0%減少。

「その他の売上高」が増加するとともに「売上原価」も増加し、純営業収益は前四半期比4.1%、55百万円減少。これに加え、販売費・一般管理費が60百万円増加したことから、利益は前四半期比約半減。



四半期販管費推移

Money Partners Group

■ 販管費内訳及び主要費目の推移

単位:百万円

	2016/3期			2017/3期			2018/3期	前四半期 対比増減	
	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)		1Q (4月~6月)
取引関係費	333	292	349	299	325	355	357	388	8.6%
人件費	245	239	257	252	266	253	256	241	▲5.7%
不動産関係費	155	165	181	170	176	164	161	159	▲0.9%
事務費	256	228	281	309	235	223	215	226	6.0%
減価償却費	89	89	99	98	93	93	101	113	11.9%
租税公課	24	23	30	33	30	36	10	22	123.7%
貸倒引当金繰入れ	6	▲0	▲0	0	▲0	—	—	—	—
その他	10	12	10	38	13	13	14	22	60.3%
販売費・一般管理費合計	1,121	1,049	1,209	1,201	1,142	1,139	1,115	1,176	5.4%

(主要な費目)

広告宣伝費(※1)	141	106	105	106	122	160	154	170	9.8%
システム関連費用(※2)	343	318	385	396	335	327	316	316	0.2%

※1 取引関係費の一部となります。 ※2 取引関係費、不動産関係費、事務費の一部となります。

<主な増減要因(前四半期との比較)>

取引関係費(増加) : マネパカードに関する広告宣伝費やカード発行数増加に伴う郵送費用の増加

減価償却費(増加) : 次期システムの開発に関連する先行取得資産に伴う償却資産の増加

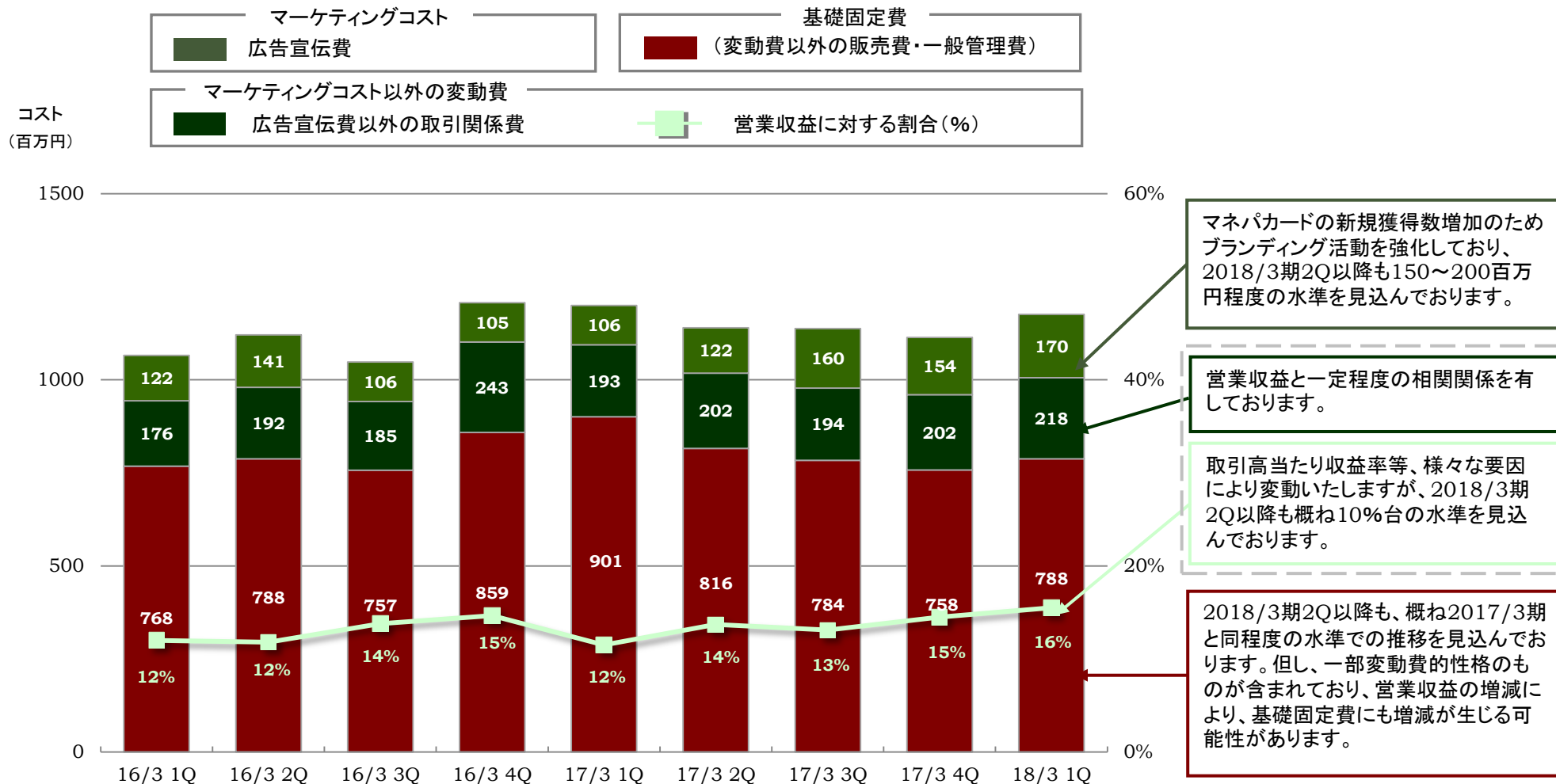
租税公課(増加) : 前四半期の減少に伴う反動増



四半期固定費・変動費推移と今後の動向

Money Partners Group

■ 主要な固定費・変動費の推移



マネパカードの新規獲得数増加のためブランディング活動を強化しており、2018/3期2Q以降も150~200百万円程度の水準を見込んでおります。

営業収益と一定程度の相関関係を有しております。

取引高当たり収益率等、様々な要因により変動いたしますが、2018/3期2Q以降も概ね10%台の水準を見込んでおります。

2018/3期2Q以降も、概ね2017/3期と同程度の水準での推移を見込んでおります。但し、一部変動費的性格のものが含まれており、営業収益の増減により、基礎固定費にも増減が生じる可能性があります。

2018年3月期第2四半期以降も、マネパカード普及のためのプロモーション活動を継続し、マーケティングコストは現状並みの水準を込めております。固定費についても、当期は大幅な増加は見込んでおりません。



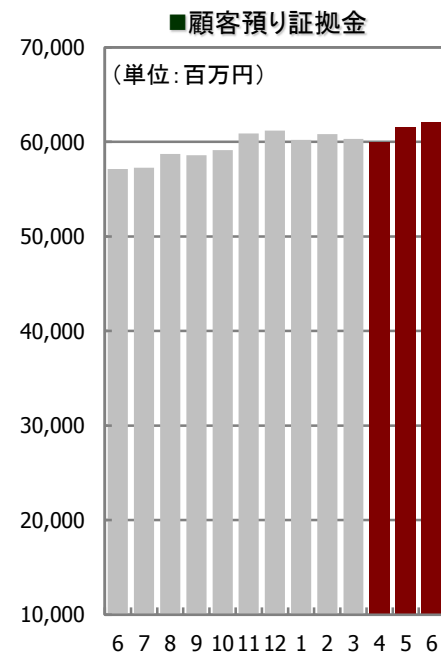
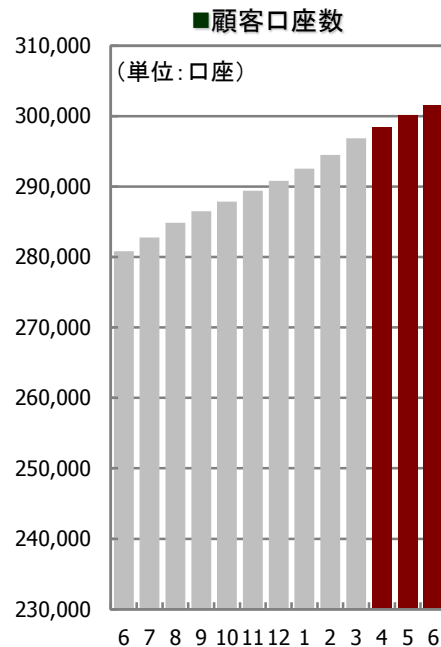
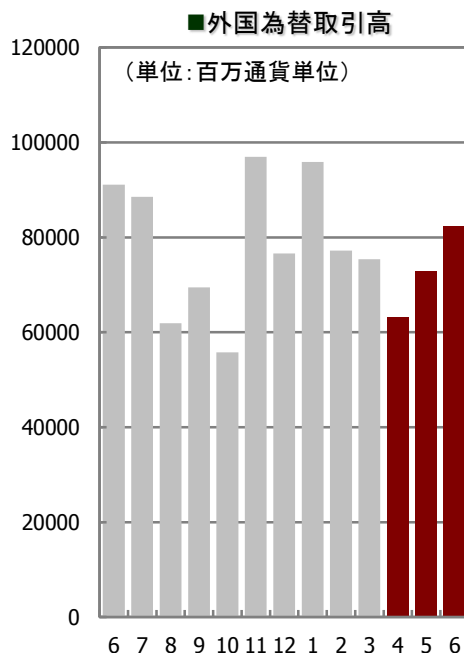
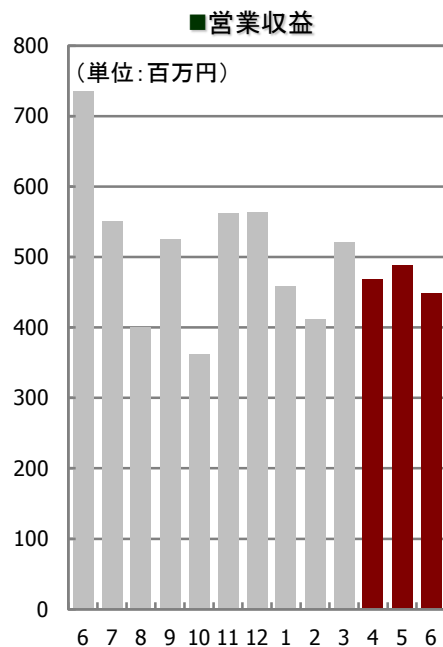
月次業績指標推移

Money Partners Group

■ 月次営業収益、外国為替取引高、顧客口座数、顧客預り証拠金の推移

	2016年							2017年					
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
営業収益(百万円)	738	551	401	525	362	562	563	458	412	521	469	488	449
外国為替取引高 (百万通貨単位)	91,113	88,556	61,925	69,423	55,772	96,989	76,584	95,875	77,214	75,386	63,192	72,786	82,184
顧客口座数(口座)	280,816	282,791	284,866	286,494	287,842	289,389	290,820	292,553	294,472	296,861	298,467	300,139	301,557
顧客預り証拠金(百万円)	57,133	57,278	58,715	58,608	59,136	60,882	61,201	60,221	60,814	60,325	59,995	61,529	62,091
内、BtoB先金融法人	8,668	8,900	9,541	9,562	10,148	11,423	12,000	10,828	11,368	10,541	9,886	10,709	10,737

※営業収益、外国為替取引高及び顧客預り証拠金には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。



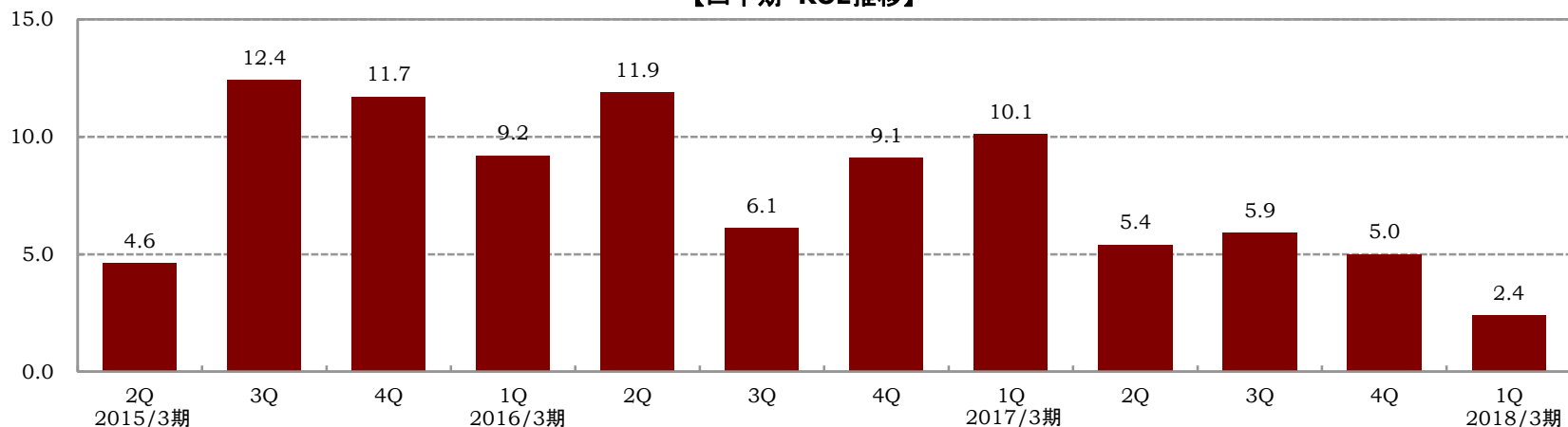


主要経営指標推移

Money Partners Group

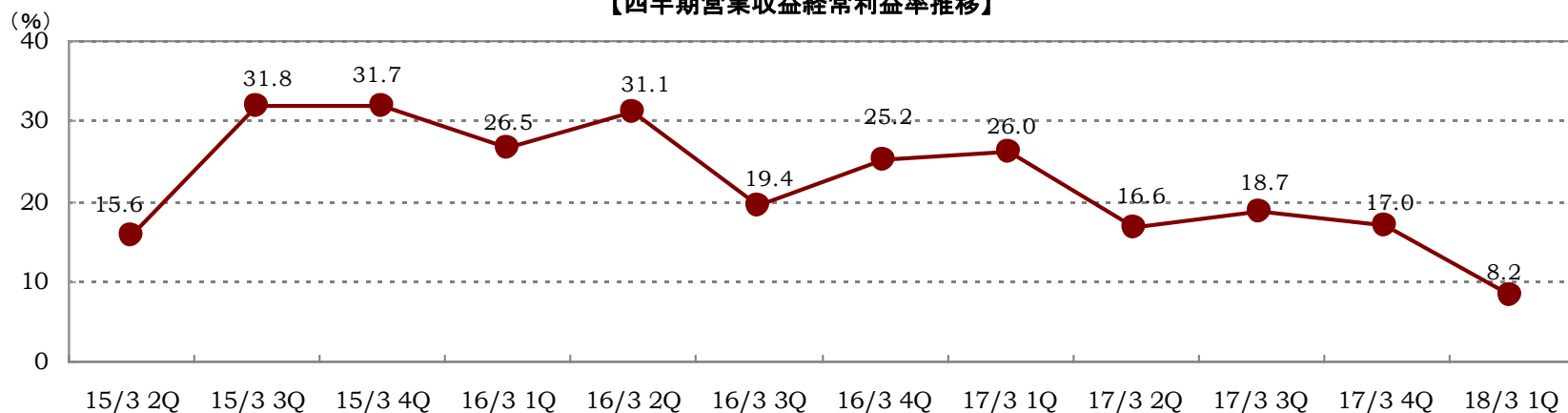
■ ROE及び営業収益経常利益率推移

【四半期 ROE推移】



※: 四半期ROEは、下記計算式により年換算して算出しております。
 $ROE(年換算) = (四半期純利益 \times 4) \div ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) \div 2) \times 100$

【四半期営業収益経常利益率推移】



Ⅱ.2018年3月期第1四半期の重点施策の進捗状況





当社グループの重点施策

重点課題

既存ビジネス

収益力強化

顧客基盤拡大
取引機会創出

新たなビジネス・
サービスの事業化

重点施策

- 実需層の取り込みによる顧客基盤の拡大
- 収益基盤の多様化とFX収益率の更なる向上

実需

- ★ ブランディング及び実需顧客等の取り込み
- ★ カード及び外貨両替サービス利用者層の取り込み

顧客サービス

- ★ 顧客向けサービスの改善
- ★ 新注文・新サービス・新機能の提供

収益

- ★ 収益性の継続的改善



重点施策の進捗状況①

Money Partners Group

ブランディング強化とマス戦略展開による顧客獲得

FX

新通貨ペア取扱い開始 トルコリラ/円

積極的なキャンペーン展開

主力商品「パートナーズFX」のスプレッド縮小



上場 10th ANNIVERSARY

株式手数料無料キャンペーン

マネパ史上最大の大還元祭

上場 10th ANNIVERSARY

PFX マネパの業界最狭水準スプレッド!
原則固定 例外あり (コアタイム8:00~28:00、トルコリラ/円とメキシコペソ/円のみ10:00~28:00)

お客様への還元効果 **2.2億円!?** ぜひ、体感してください! >

USD / JPY 米ドル/円	EUR / JPY ユーロ/円	EUR / USD ユーロ/ドル	AUD / JPY 豪ドル/円
0.3 銭	0.4 銭	0.3 pips	0.6 銭
GBP / JPY ポンド/円	NZD / JPY NZドル/円	ZAR / JPY 南アランド/円	TRY / JPY トルコリラ/円
1.0 銭	1.0 銭	1.0 銭	1.9 銭
GBP / USD ポンド/米ドル	AUD / USD 豪ドル/米ドル	MXN / JPY メキシコペソ/円	9通貨ペア スプレッド縮小中!
0.8 pips	0.8 pips	0.5 銭	8/15まで



重点施策の進捗状況②

Money Partners Group

ブランディング強化とマス戦略展開による顧客獲得

マネパカード

新規機能追加

- ・スマートフォン専用の会員専用サイト
- ・1円から両替が可能に
- ・FX口座を開設でマネパカードへの外貨の振替・移動の手数料が無料に

ビットコイン

業界団体を通じたの活動

(社)日本仮想通貨事業者協会の会長・代表理事に
当社代表取締役社長の奥山泰全が就任

協会における業界ルール策定のための協議等に
積極的に関与

マネパカードと仮想通貨(ビットコイン)の連携サービス開始

日本最大級のビットコイン取引所「Zaif Exchange」を営むテックビューロ株式会社と
提携し、ビットコインを円転しマネパカードに直接チャージできるサービスを開始

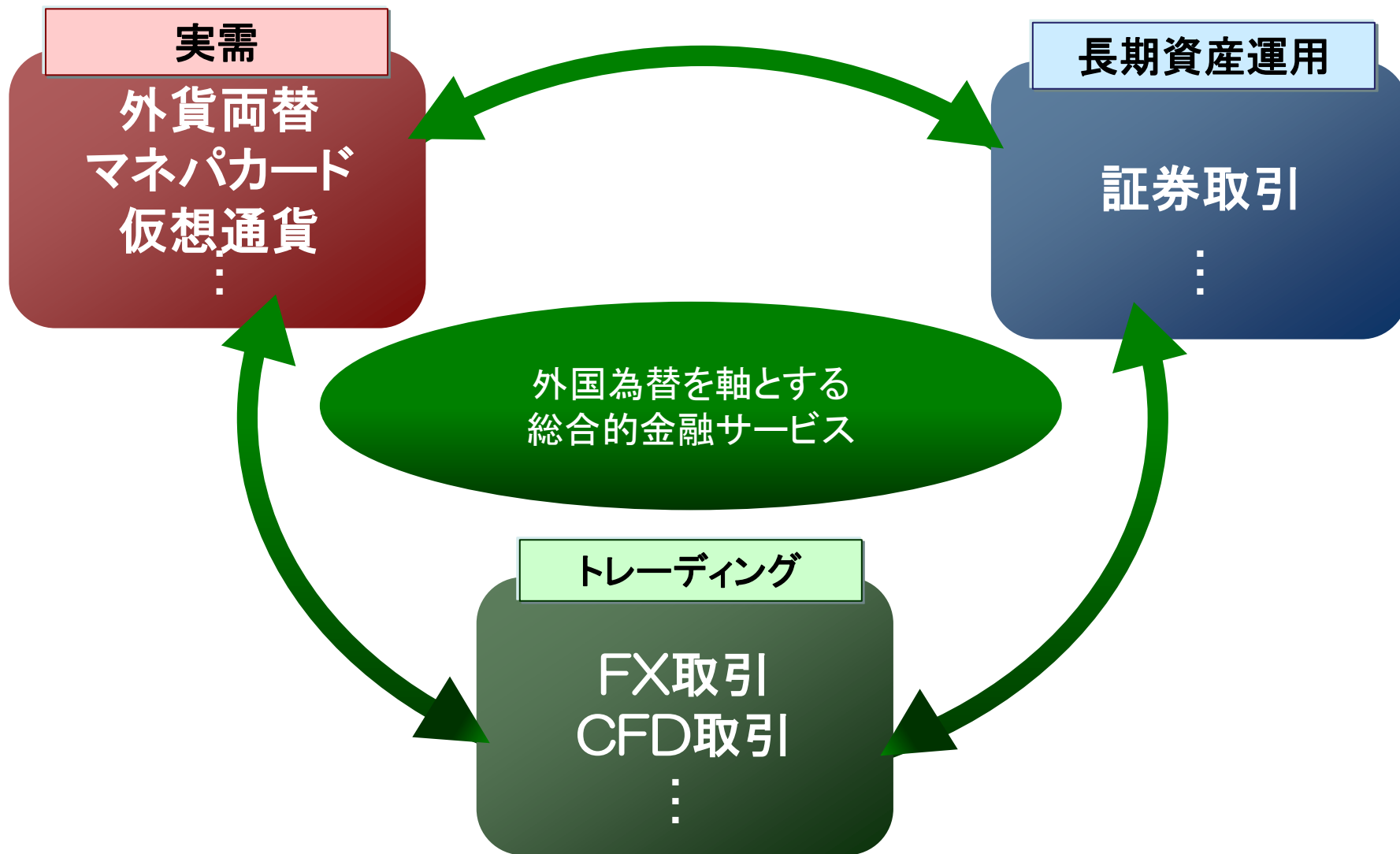


国内でも海外でもおトクな いまどきの「おさいふカード」
Zaif × **Manepa Card**
 プリベイドカード

ビットコインをお持ちの方に、
マネパカードがおすすめです。

Ⅲ. 今後の目指すべき方向性





IV. 当社の経営目標及び株主還元について





ROE及び営業収益経常利益率の向上

- 当社は、企業価値の最大化のため自己資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指して参ります。
- 効率性を計る尺度として、自己資本利益率(ROE)及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。

▶ ●2018年3月期第1四半期(2018年4～6月)のROEは2.4%

※: 四半期ROEは、下記計算式により年換算して算出しております。

ROE(年換算) = (四半期純利益 × 4) ÷ ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) ÷ 2) × 100

▶ ●2018年3月期第1四半期(2017年4～6月)の営業収益経常利益率は8.2%



株主還元について

Money Partners Group

業績向上に取り組み、株主利益の向上に努める

配当方針

配当性向 … 連結当期純利益の**30%**を目処

配当機会 … **中間及び期末**（年2回）

	2017年3月期				2018年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
当期純利益(百万円)	299	161	178	155	74			
上段: 3ヶ月	299	460	639	794	74			
下段: 累計								
配当金の総額 (百万円)	130		130					
期末発行済 株式総数(株)	33,763,500 (内、自己株式1,202,300)		33,772,900 (内、自己株式1,202,300)					
1株当たり 配当金	中間・期末	4.0円		4.0円				
	年間	8.0円						



取扱い商品に係るリスク及び手数料等について

パートナーズFX、パートナーズFXnanoおよびCFD-Metalsは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格とは差額(スプレッド)があります。

取引手数料は無料です。ただしパートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの受渡取引に限り、1通貨単位あたり0.10円の手数料をいただきます。

パートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの取引に必要な証拠金は、取引の額の4%以上の額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。法人コースの証拠金は、取引の額の4%の額と、金融先物取引業協会が算出した通貨ペアごとの為替リスク想定比率を取引の額に乗じて得た額のうちいずれか大きい額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。為替リスク想定比率とは、金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第27項第1号に規定される定量的計算モデルを用い算出します。

CFD-Metalsの取引に必要な証拠金は、取引の額の5%以上の額で、証拠金の約20倍までの取引が可能です。国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.7%の手数料(消費税込み)、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,700円(消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者・商品先物取引業者)

〈金融商品取引業の登録番号〉関東財務局長(金商)第2028号

〈加入協会〉日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会

2018年3月期第1四半期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ